平成26年度事業計画書

第35期活動方針 **企業を全力で応援!**

> 自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日

札幌商工会議所

I 基本方針

本道経済は、政府の経済政策により、回復基調を見せているものの、その実感は業種や企業規模、地域によりまだら模様であり、今後は消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動減や円安による燃料・原材料の高騰、さらには、電気料金の値上げなどの影響も懸念されている。

一方、急速に進行する人口減少・高齢化への対応やTPP問題への対応、電力の安定供給といった将来に関わる大きな課題への対応も迫られている。

こうした中、今後、息の長い景気回復を実現していくためには、地域産業の 自立的な成長が、所得や雇用の増加につながる『好循環』を確立していかなけ ればならず、そのためにも、企業活力の向上が重要となっている。

こうしたことから、第35期の3年間においては、中小企業や地域の新たな 挑戦を積極的に支援すべく「企業を全力で応援!」をスローガンに掲げて取り 組むこととした。

平成 26 年度においても、この方針を踏まえ、以下に掲げる4つの重点事業項目に沿って諸事業を展開し、企業の活力向上を通じた地域経済活性化に全力で取り組む。

まず、本道における強みである「食」と「観光」といった地域資源活用分野の振興を図るとともに、国内外の販路拡大に向けた諸事業を展開する。

また、消費税増税などを踏まえ、金融相談、専門相談体制の強化を図り、中 小企業の活力を引き出す極め細やかな経営支援を行う。

一方で、2年後に迫った北海道新幹線新函館(仮称)の開業は、新幹線延伸の経済効果の大きさを証明する絶好の機会であることから、道南、東北との連携を進め、開業効果の最大化を図っていくための戦略を講じ、着実に実行していかねばならない。

また、地域に活力を生み出すプロジェクトを推し進めるため、積極的な建議要望活動を行うと同時に、地域の総合経済団体として、札幌の中長期的な視点に立った成長戦略について検討する。

さらに、中小企業経営の喫緊の課題である人材育成・確保に関し、早急かつ効果的な対応を図るとともに、会員相互の企業間連携の促進、さらには当所の発信力強化により、組織活性化と基盤強化を図る。

Ⅱ 重点事業

- 1. 中小企業の挑戦を応援する
- 2. 札幌・北海道に活力を生み出す
- 3. 人づくり・人材確保を応援する
- 4. 組織活性化と基盤強化

1. 中小企業の挑戦を応援する

政府の成長戦略にも掲げられた『中小企業・小規模事業者の革新』に向け、食や観光といった地域資源の活用や、国内外への販路拡大を一層支援する。

また、中小・小規模企業の経営改善に向けた相談支援体制や創業支援を強化する。

(1) 中小企業の新たな挑戦を応援

1)地域資源活用分野(食・観光)の拡充

①「北のブランド」認証事業およびPR促進

会員企業が開発した製品に関し、優れた技術やこだわり、市場における製品・技術の高い評価、市場での将来性、地域性などの基準により審査を行い、優れたものを「北のブランド」として認証する。

また、北のブランドを直接消費者にPRするために、アンテナショップとネット通販ショップを運営し周知を図る。

②地域資源を活用した食品開発事業

雪氷貯蔵技術や機能性素材活用による付加価値の高い加工食品の開発を支援する。

③付加価値向上支援事業(健康食品・機能性食品・化粧品など)

北海道の地域資源を活用したバイオ産業の育成と海外への販路拡大促進を目的に、「バイオ産業」企業によるワーキンググループを設立し、海外展開に向けたノウハウの提供と課題解決を行うと共に、海外バイヤー招聘による商談会などを開催する。

4)農業参入支援事業

農業参入に対する課題解決に向けて、より実践的な内容の勉強会、意見交換会や個別相談会を開催し、農業参入を検討している企業を支援する。

⑤北海道フードマイスター事業

北海道フードマイスター検定や、合格者フォローアップ事業を通じ、「北海道の食材」を広く伝え、「地産地消」「食育」「おもてなし」向上や各産業の協業による北海道食材の価値向上にも一役買う人材を育成する。

⑥新たな観光資源の発掘、普及~マンガ活用、冬季魅力アップ事業、体験型観光、自転車観光、セカンドハネムーン振興

北海道ゆかりのマンガ等を活用したコンテンツ・ツーリズムやサイクリングを活用した自転車観光などの新たな観光素材の普及に努めるとともに、体験型観光の発掘と、冬季の閑散期における観光資源開発に向けて関係機関と共に検討する。

また、今後、団塊の世代が退職期を迎えることから、癒しやゆとりを求めて夫婦で余暇を過ごす「セカンドハネムーン」を札幌で満喫して頂くべく、関係業界と連携し、札幌への誘客に向けて取り組む。

⑦イベント運営協力 (YOSAKOI、北海道マラソン、雪まつり他)

「YOSAKOIソーラン祭り」、「北海道マラソン」、「さっぽろ雪まつり」、「さっぽろライラックまつり」、「さっぽろ夏まつり」、「さっぽろ菊まつり」等の市内のイベント・行事への運営協力を行う。

⑧国内・国際観光プロモーション

札幌市、札幌観光協会と当所の三者で、国内、海外の現地旅行エージェント等を通じて札幌への観光誘客を図るとともに、札幌に赴任中の支店代表者などを「札幌観光大使」として委嘱し、様々な場面で札幌の魅力をPRする。

⑨観光情報発信事業(「サイト de さっぽろ」の運営他)

ホームページ「サイト de さっぽろ」や観光ガイドブック「BIMI」の製作により観光情報等を発信し、来札者に有意義な情報を提供する。

2)国内外企業との商談機会の拡大

①道外への販路拡大支援

「北のブランド」認証製品や機能性食品をはじめとした道産加工品の販路 拡大のため、「スーパーマーケット・トレードショー」など道外での各種催 事、商談会等に参加する。

新 ②食品機械・食品製造業との交流会

道内企業が製造した食品機械の紹介や導入事例、メリットについてセミナーと交流会を実施する。

③ものづくり展示商談会への出展と販路拡大支援

北のブランド「ものづくり部門」認証企業をはじめとする製造関連企業の 販路拡大を目指し、「ものづくりテクノフェア」など各種展示商談会の参加 を支援する。

④「我が社の商品売り込み市」の開催

道内外の販売力のある企業バイヤー(大手スーパー、量販店、ホテル等) を招いての事前マッチング型の商談会を開催する。

⑤月例個別商談会の開催

大手小売・流通等のバイヤーやIT企業を招き、個別形式の商談会を年間を通し複数回実施する。会員企業に対し、恒常的な商談機会を提供することで、取引拡大に寄与する。

⑥ザ・ビジネスモールの運営

全国の商工会議所・商工会が運営する企業情報サイト「ザ・ビジネスモール」の活用促進を図り、自社PR・取引先探しに利用頂く。

7)外食産業海外展開サポート事業

外食産業海外展開セミナーや海外展開先進企業との個別相談会などを開催 し、外食産業の海外進出を支援する。

⑧海外販路拡大支援事業~ASEAN、中華圏、イスラム圏、極東ロシア

会員企業のニーズに対応したコーディネートや、食品・貿易部会所属会員同士のマッチング等により販路拡大を支援する。また、関係諸機関と連携し、海外での展示商談会・物産展などを実施するほか、業務用商品の輸出に向けて現地飲食店と連携したフェアを実施する。

- ○中華圏…香港・中国本土(上海・大連・瀋陽など)・台湾など
- ○ASEAN 地域…タイ (バンコク)・シンガポールなど
- ○イスラム圏…マレーシアおよび中東への物流実証調査
- ○極東ロシア…道産品並びに積雪寒冷技術を活かした建設資材の販路拡 大の可能性について検討

⑨国内外バイヤー招聘による商談会「商品発掘商談会 IN 札幌」の実施

国内外バイヤー招聘による商品発掘商談会を札幌において実施する。また 初めて商談会に臨む企業などを対象に、海外との取引心得学習会などを開 催し、北海道内企業の海外展開におけるスキル向上を支援する。

⑩協同組合トレード札幌の事業支援

協同組合トレード札幌が行う事業を支援する。

3)創業支援の充実・強化

①『来たれ!起業人!創業促進キャンペーン』の展開

開業後の企業としての定着を促進するため、創業準備段階でのハンズオン 支援を強化し、専門家・経営指導員一体となって支援を図る。

平成26年度~28年度の3年間で100社の開業者を輩出する。

②創業アドバイザーの配置

地域の創業者を各支所がサポートするとともに、新たに支援アドバイザーを配置し、身近な相談者としての強化を図る。

③創業ゼミナールの開催

創業に必要な基礎的知識習得に向けた講座を実施するとともに、講座終了後も継続的な相談業務やフォローアップセミナーを開催し、開業までサポートする。

4 創業ビレッヂの運営

創業準備事務所としてブースを貸与し、専門家による専門相談等を通じて、 金融や販路開拓など独立・開業を全面的にバックアップする。

⑤創業支援サイトの構築

開業計画の作成方法や開業時に利用できる各種制度の情報、創業者同士の 交流の場の提供など、創業に向けた有益な情報をサイト上で提供する。

⑥創業者交流会の開催

当所創業支援事業利用者相互のネットワーク構築に向けた交流会を実施する。

(7)創業者応援ステップアップ基金(利子補給)制度の運営

創業5年以内の企業を対象に、マル経資金の利子補給制度「創業者応援ステップアップ基金制度」を運営する。

(2) 中小企業の経営を応援

1)相談事業・再生支援の充実・強化

- ①各種融資制度(マル経、道融資等)の推薦・斡旋
- ②消費税転嫁対策窓口相談等事業の実施~転嫁対策相談窓口設置、対策セミナー 消費税率引き上げ分の円滑な価格転嫁は、中小・小規模事業者の最大の懸 念事項であることから、幅広い相談に対応する「ワンストップ相談・支援 体制」の構築を図ると共に、転嫁対策に関する広報活動を強化する。

③下請けガイドライン見直しの周知

燃料費・原材料費の値上がり分を、下請け企業が大企業への納入価格に円滑に転嫁できるよう見直された「下請けガイドライン」の周知を図る。

- ④経営指導員による巡回・窓口指導
- ⑤専門相談員による相談指導

相談所本所と支所において17名の専門家(税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、弁護士)による定例の専門相談を実施する。今年度は毎週 火曜日の法律相談を追加し、金融円滑化法関連の相談応対を拡充する。

6記帳指導

開業間もない個人事業者を対象に記帳指導員が個別指導を年間5回程度実施し、適正な経理による経営の安定と発展に資する。

⑦経営安定セミナー、小規模事業者向け各種講習会の開催

倒産防止を目的に信用情報や経営指標、財務諸表の活用や、資金繰りをテーマとしたセミナーを開催し、経営者の危機対応力向上を支援する。また、小規模事業者を対象に金融、経理、税務、労務、販促など経営の様々な分野にわたる講習会を本所・支所にて実施する。

⑧北海道中小企業再生支援協議会の運営

国の委託事業である中小企業再生支援協議会事業の運営により、中小企業の再生に向けた取り組みを支援し、地域経済の安定と雇用の確保を図る。

⑨北海道事業引継ぎ支援センターの運営

事業の存続に課題や不安を抱える中小企業に対し、事業の承継、再生、引継ぎ、廃業等に関する相談に対応する。さらには事業引継ぎの可能性のある企業の基本戦略等の支援を行うとともに、民間支援機関(金融機関・M&A会社等)への橋渡しを行う。

⑩北海道経営改善支援センターの運営

条件変更や融資行為(借換融資・新規融資)等の金融支援が必要な中小企業・小規模事業者が、国の認定を受けた外部専門家の支援を受け、経営改善計画を策定する場合の費用等、相談・申し込みの支援を行う。

2)企業のPR支援強化

新 ①社会貢献·福祉活動 (CSR) 経営表彰

地域社会の発展や安定した社会構築の為に、企業が担う役割が大きくなっている中、他の会員企業の模範となるようなCSR活動を行っている会員企業を表彰し、会議所として広く広報する。

②クラブ新鮮組の運営

会員企業の店舗情報サイトとして店舗を持つ企業のPRを支援する。また、加盟店のDーポン付きパンフレットを夏・冬D 回発行し、加盟店のD R および集客・利用促進を促す。

③新製品・新サービス合同記者発表会

報道機関を招き、会員企業の新製品・新サービスの合同記者発表会を開催する。

④地下街コミュニケーションスペース活用事業

地下街オーロラタウン「札幌商工会議所コミュニケーションスペース」を 会員企業に有償提供し、地域の食品や雑貨、新サービス等を広く市民に宣 伝するアンテナショップとして活用してもらう。

⑤札商ビジネスメール便

会員企業の販売促進等を支援するため、会報誌「さっぽろ経済」へのチラシ封入サービスを実施する。

3)省エネ・環境経営普及支援

①スマートハウス/スマートコミュニティへの地場企業参入検討

再生可能エネルギーを利用した自立分散型のエネルギー供給システムの導入により、住宅、設備機器、自動車、ITなど幅広い業界に裾野の広がるスマートコミュニティやスマートハウス分野について、今後の地場企業の参入に向け検討する。

②省エネビジネス支援事業

中小企業の省エネマインド向上や、環境経営に向けた取り組みの支援を目的に、BEMS等の省エネ・節電対策並びに、優良事例等の取り組みを紹介する情報提供、省エネコンサル相談等を実施する。

③「新エネルギービジネス研究会」の運営

メンバー間の技術紹介や新たな技術シーズ情報の提供などにより、メンバー間の連携による新たなビジネスを検討する。

④環境経営普及促進~札商ECO宣言行動2014他

企業における環境に配慮した活動を促進し、省エネルギーの意識を高めて CO2削減を推進するとともに、企業の環境経営を支援するため支援制度や 取組事例の紹介等を行う。

4)ものづくり・IT関連産業の振興

新 ①ものづくり技術者交流会

ものづくり人材の育成と、研究者・技術者との交流・技術連携を促し、中 小企業の新製品開発、技術力の高度化・研究開発力の向上を目的とした交 流会を開催する。

新 ②ものづくり企業のビジネスチャンス発掘に向けた現場見学会

地元ものづくり企業等が農家などの生産現場を訪問し、そこで抱える課題を実際に見聞きすることで解決策を考え、ビジネスチャンスを発掘する現場見学会を行う。

新 ③ | T 需要創造マッチング交流会

I Tに関する最新トレンドやサービスをテーマとした講演会と交流会を開 催し、今後のビジネス展開に役立つ情報を提供する。

④首都圈 IT 関連施設・展示会視察

最新ビッグデータやデータマネジメントの関連事情について最新施設や展 示会の視察を実施する。

⑤北海道 I T 産業 1 兆円プロジェクト」(ニアショア開発推進)

道内IT産業の売上拡大を目指し、道内大手ベンダー企業の連携により、 首都圏からの受注確保に向けた取り組みを行う。また、首都圏においてべ ンダーおよびユーザー企業向けのプレゼンテーションを実施する。

5)各業界の振興

①建設業界イメージアップ対策

若年者、並びに世間が持つ業界のイメージ改善、並びに社会的評価の向上 を目指して、関連業界団体との協力の下、従来の工業高校生、専門学校生 に限定せず、普通校や保護者なども視野に、業界の魅力について幅広いP R事業を展開する。

②BCP普及啓発支援事業(セミナー、計画書策定支援)

危機管理能力の向上と事業継続の体制構築を支援することを目的に、セミ ナー、相談会を開催する。

③不動産業界PR事業

一般消費者に対し、専門家や業界団体等と連携したPR事業(住宅・不動 産フェア等)を行う。

④「サッポロヘルス&ビューティフェア」の開催

健康、美容、バイオに関するメーカー・諸団体等を一堂に集め、幅広い情 報を消費者に提供するとともに、業界の市場拡大に向けたフェアを開催す る。

⑤介護・福祉業界ネットワーク組織設立検討

介護・福祉業界の急速な発展に伴う事業参入が進む中、業界内における課 題解決や適切な情報を共有できるよう連携強化・ネットワーク化の促進を 図る。

⑥各業界の最新情報提供

各業界における先進事例や業界動向など、時宜にあった情報提供を行う。

- ・外国人旅行者への消費税免税制度改正に伴う新たな免税店制度セミナー
- おもてなし旅客フォーラム
- ・国土交通白書説明会
- ・ものづくり企業事例紹介講演会 ・金融・流通業界活性化セミナー

新春講演会

感動感謝経営塾

2. 札幌・北海道に活力を生み出す

人口減少・少子高齢化などを踏まえ、地域活力を生み出すための提言・要請活動を強化する。中でも、2016年春の北海道新幹線新函館(仮称)開業に向けて、道南地域と連携した機運醸成に取り組むとともに、札幌開業に向けた工期短縮や市内外の道路・空港等のインフラ整備に向けて取り組む。

また、中長期的な札幌の成長戦略の検討に加え、電力・エネルギー問題や、TPP、 消費税引き上げへの対応といった直面する諸課題に対し、各委員会の政策提言活動を 強化する。

(1)地域に活力を生み出す政策提言活動の展開

1)政策提言活動の強化

①陳情要望活動の実施、札幌市など関係機関との懇談会の開催

「札幌市労働環境調査」など入札契約制度の改善をはじめ、業界が抱える 課題について適宜要望するとともに、国・道・市との要望懇談会を開催す る。

②政策課題への対応

中小・小規模企業施策や電気料金値上げ、原油価格高騰、TPPなど直面する諸課題について適宜要望活動を行う。

- ③第64回全道商工会議所大会への参画(6月27日・28日 網走市)
- ④第49回東北・北海道商工会議所連絡会議(9月3日 小樽市)への参画
- ⑤景気動向·経営課題調査

北海道・札幌市の経済情勢・景気動向や、企業が抱える経営課題の把握の ため、種々の調査を実施する。

⑥各委員会による調査検討

- ・労働力人口拡大に向けた女性・高齢者の活用促進に向けた取り組み
- ・企業の公的負担(税・社会保険料)軽減に向けた取組み
- ・通年で集客できる観光資源開発
- ・道央圏の周遊観光に向けた近隣会議所との連携 他

2)札幌版成長戦略の提言に向けた検討

①さっぽろ成長戦略特別委員会の運営

人口減少・少子高齢化など、北海道・札幌を取り巻く経済環境の変化を見据え、「人づくり」「産業政策」「都市インフラ」「生活・文化」の4分野から、中長期的な札幌の成長戦略策定に向けた調査・検討を行う。

(2) 地域に活力を生み出すプロジェクトの推進

1)2016 年新幹線道内乗り入れ、および札幌延伸の工期短縮

①道南開業に向けた機運醸成活動

2016年に開業の迫った北海道新幹線(新青森-新函館[仮称]間)に関して、道南地域と連携した開業機運醸成を図る。

②新幹線を活用しての来道者拡大に向けた東北でのPR、交流活動

北海道新幹線開業に伴う観光客の増加に向けて、東北新幹線沿線地域での教育旅行誘致をはじめとした誘客を推進する。また、北海道新幹線開業に向けて、青函連携の取組状況を把握するとともに、新たなビジネスチャンスの発掘を目的とした視察会を実施する。

③札幌延伸の工期短縮に向けた要望・啓発活動

着工が決まったものの、完成時期が20数年先とされた札幌延伸に関して 完成時期の前倒しに向けた要請活動を行うほか、啓発活動を行う。

2)地域活力向上に向けたプロジェクトの取り組み

①新幹線札幌開業時の二次交通整備に向けた取り組み

~ 丘珠空港整備促進、都心と高速道路とのアクセス強化

平成24年度に取り纏めた提言「札幌広域圏の総合交通体系グランドデザイン〜北海道新幹線 開業時期の前倒しに向けて」の実現に向けて、道央圏における交通体系の現状・課題把握と、課題解決に向けた勉強会を開催するほか、機運醸成に向けた啓発活動を行う。

新 ②札幌冬季五輪の誘致

札幌冬季五輪誘致について、地域経済活性化の視点から必要性を整理すると共に、開催機運の向上を図り、誘致に向けた取り組みを推し進める。

新 ③統合型リゾート(IR)の調査研究

統合型リゾート(IR)の法制化に向けた動向把握と札幌圏への誘致について調査する。

④首都圏バックアップ機能の誘致に向けた取り組み

震災以降、抜本的なリスク分散の必要性が迫られている中、首都圏に集中する行政・経済機能のバックアップ先としての札幌都市圏の優位性、可能性について関係機関と連携し訴えていく。

3)街の賑わい創出

①「(仮称) 北海道お菓子フェア 2016」の企画検討

北海道新幹線開業や当所創立110周年を迎える2016年を目途にして、市内中心部で大規模な菓子イベントを開催すべく、関係機関等と連絡調整並びに企画立案の検討を行う。

②地域連携推進委員との連携促進

地域振興・活性化推進を果たすことを目的に、各地域とのパイプを保ち、 支所の諸事業の運営に対する助言をはじめ、建設的な役割を担い得る地元各 種団体役員等経営者により構成する連絡会議を各支所に設置し運営する。

③商店街と連携した取り組み

~100 円商店街事業、まちゼミ事業、まちバル事業、大学との連携支援事業 各地商店街と当所各支所が連携した地域活性化事業として、「100 円商店街」 の継続実施に加え、商店の店員が講師となって消費者に対し、プロの技や 生活に役立つ専門知識を伝授する「まちゼミ」、飲食店向けワンコインイベ ント「まちバル」を新たに実施する。また、商店街と地元大学との情報交 換会および視察会を実施し、新たな振興策を検討するほか、商店街への学 生派遣(インターンシップ)について支援する。

④まちづくり会社と連携した都心活性化

札幌大通まちづくり㈱、札幌駅前通まちづくり㈱と連携を図り、まちづくり会社が行う事業への協力や中心市街地再整備事業の検討、関係者との協議を行う。

⑤縁結び交流事業

会員企業の従業員を対象に縁結び交流事業(婚活)を実施する。

⑥地元プロスポーツ支援事業

北海道日本ハムファイターズ、コンサドーレ札幌などの地元プロスポーツ チームへの観客動員増などに向けた取り組みを支援する。

4)国際化推進に向けた基盤整備と交流推進

①ポートランド姉妹都市提携55周年記念事業への参画

今年度、札幌と米国ポートランド市との姉妹都市提携 5 5 周年を迎えることから、現地を訪問するほか、道内企業の中堅・若手社員の海外研修を兼ねた現地企業訪問等を行う。

②新千歳空港海外路線誘致活動

新千歳空港の国際路線拡充、欧米便就航に向けて国内外航空会社への路線 開設要請活動を実施する。

新 ③日米国際シンポジウムへの協力

北海道日米協会の主催により9月5日~7日の予定で開催される同シンポジウムの開催協力を行う。

④外国人観光客受入体制整備活動~無料Wi-Fi・外国語看板等の整備促進 外国人観光客の利便性向上のための無料Wi-Fi環境の整備、道路案内標 識の改善、観光案内所の充実等、行政機関に要望活動を行うほか、観光関 連企業等に向けて啓蒙を目的としたセミナーを行う。

3. 人づくり・人材確保を応援する

会員企業の経営課題において最もニーズの高い「人材育成・確保」に関し、「起業家支援」「女性の活躍推進」「グローバル人材の育成」などの観点から産業人材の育成に注力する。

また、増加する外国人観光客への接遇向上に向けた「おもてなし人材」の育成など、時代に必要とされる実践的な人材育成に取り組む。

(1)産業人材の育成

1)起業マインドの醸成

①「北の起業家表彰」の実施

優れた経営手法、独自の技術、商品開発等により将来の北海道経済界の担い手となり得る企業を発掘して表彰し、社会的評価の向上を支援する。

②北海道フランチャイズ&起業・独立フェア

起業や独立、新事業展開を見据えている企業に対し、PRを行うイベントを共催する。

新 ③創業予備軍の掘り起こしに向けた学生向け啓発活動

地域の雇用創出や経済の新陳代謝を図っていくためには、地域の起業・創業の促すことが重要なことから、学生などの創業予備軍の掘り起こしを目的に、大学等で企業経営者による講演会を開催する。

④資金調達手法の多様化に関する調査研究

技術やアイデアを事業化する段階での資金調達について、インターネット を活用して多数の投資家から少額ずつ資金を集める手法などについて検討 する。

新 2)女性の活躍促進

①女性起業家スタートアップサロンの開催

起業を考える女性や、起業後間もない女性などを応援することを目的に、講師や先輩起業家などをゲストに招いてのミニ講座や交流会を開催する。

②研修プログラムの提供

(トップリーダー交流、キャリアアップ講習、女性活用メリット卓話)

企業の活性化および北海道経済の発展には、女性の視点・感性を活かす取り組みが必要不可欠であることから、女性経営者・幹部・従業員等が意欲的に活躍できる環境づくりに向けて研修を行う。

③女性社員交流会の開催

女性社員の仕事へのモチベーション向上や、ネットワーク構築を目的とした女性社員交流会を開催する。

④女性が活躍する企業の表彰「(仮称)札幌なでしこ表彰」

女性が活躍できる機会を積極的に提供している企業、女性の活躍により業績を伸ばしている等を表彰し、会議所として広く広報する。

⑤女性の登用・活用促進に向けた啓発

女性ならではの視点や感性を有効活用する業務の広がりに向け、事例紹介などを通じ、企業における女性の登用・活用促進を支援する。

3)グローバル人材の育成

①海外ビジネスリーダー養成塾

中小企業における海外ビジネスの後継者育成とネットワーク作りを目的に、海外取引におけるリスク管理、海外労務管理、知的財産権の保護と活用など海外ビジネスに必要な事柄を学ぶ講座を昨年度に引き続き運営する。

②ビジネス英語強化合宿講座、語学力向上セミナー

グローバル人材の育成を目的に、次世代経営者や幹部の育成支援の一環として、合宿型でのビジネス英語集中研修を開催する。また、市内企業のビジネスパーソンを対象に、英語を中心とする外国語による講話会を実施することで、語学力と語学学習の意欲の向上を図る。

③貿易実務講座、国際ビジネスセミナー

海外取引に関する実務者育成を目的に、「入門編」「実践編」をそれぞれ実施する。また、アセアン諸国をテーマとした現地進出企業の事例紹介や最新の市場動向について情報提供を行うセミナーを開催する。

④第4期アジアビジネスサポートプログラム事業

「サービス産業」「観光産業」など食産業以外の分野の海外展開をテーマに、実例紹介型の少数による勉強会を実施する。

⑤「札商アジアン・ブリッジ・プログラム」関連事業の実施

グローバル化に対応した国際的な視野を持った人材を養成することを目的に、留学生就職支援事業として平成19年より実施してきた「札商アジアン・ブリッジ・プログラム」を継続実施し、「社会人基礎力研修」や「就職活動セミナー」等の教育事業を行うとともに、「合同企業説明会」を開催することで、道内企業の海外展開に向けた人材活用に寄与する。

また、本市と留学生出身国の将来の関係づくりを目指し、企業と留学生の交流事業を実施する。

4)外国人観光客等に対するおもてなし人材の育成

(1)「語学バッジ」フォローアップ事業

語学バッジ(英語、中国語、韓国語)の普及に取り組むとともに、海外観光客へのおもてなしに焦点を当て、習慣や好み、接客外国語、おもてなしマナー等についての研修会を行う。

②中国語诵訳者懇談会

市内の中国語通訳者(日本人)の通訳技能向上とネットワーク作り、情報 交換を目的とした懇談会を開催する。

③イスラム圏観光客への対応セミナー

観光関連業界向けに、近年急増中のイスラム圏観光客の最新情報や、イスラム圏からの観光客(ムスリム)への対応ノウハウをテーマとしたセミナーを開催する。

4)外国語対応観光ガイドの育成

札幌国際プラザの語学力と当所観光ボランティアが連携し、さっぽろ雪まつり時期などの繁忙期に観光案内を実施するほか、外国人観光客を案内できる人材と観光業界との交流を促進し受け入れ環境整備を図る。

⑤「観光ボランティアガイドの会」の運営

ボランティアガイド登録者の協力を得て、観光客への情報提供や同行案内を実施するとともに、各種研修によるスキルアップを図る。

⑥札幌シティガイド検定、北海道観光マスター検定の実施

本検定を通じ、北海道・札幌の歴史・文化を学ぶことで、おもてなし力の向上に努める人材を育成する。

⑦札幌シティガイド検定フォローアップ研修の実施

札幌シティガイド検定の合格者を対象としたフォローアップ研修等を開催し、合格者の資質向上を図るとともに、観光ボランティアガイドスタッフを育成する。

5)人材育成・実践スキル向上プログラムの提供

- ①各種検定試験(簿記・販売士他)の実施
 - 日商簿記検定をはじめ、各種検定試験並びに検定対策講座を実施する。
- ②学習センター講座、職業訓練講座の運営

ライセンス系講座や、パソコン系、マネジメント系、ライフサポート系など経営力強化や職業生活向上等に役立つ多様な学習機会を提供する。

③階層別各種ビジネスセミナーの開催

新人・若手、営業マン、管理職向けなど、各階層毎のニーズに対応したビジネスセミナーを実施し、企業が求める人材の育成を図る。

新 ④「ザ・職人~わが社のスペシャリスト表彰」の実施

従業員の中でも、特に秀でた能力を発揮するスペシャリストを表彰し広く PRする。

⑤北国のガーデニング検定

北海道の気候特性に適したガーデニング知識の普及を通じ、花や緑を愛する市民の輪を広げ、花き・園芸・造園業界の振興に寄与する。

⑥キャリア教育支援事業~職業体験、企業人の出前講座他

小学生を対象に経営計画から商売体験までを学び、コミュニケーション能力やリーダーシップ、問題解決能力などを身につける起業家養成プログラム「ベンチャーキッズプログラム」等を実施する。

また、地域企業の協力を得て、地元高校生・大学生等の就業体験受け入れ斡旋や、企業人を派遣する出前講座を実施する。

⑦ミニさっぽろ2014への参画、こども観光ボランティア活動

小学生向け職業体験イベント「ミニさっぽろ」に参加し、「建設」「運輸」 「花き」業界等の業務を体験させることで、業界の魅力をアピールする。 また、夏休み期間中の市内観光施設において、「こども観光ボランティア」 を実施する。

(2) 人材確保支援

1)中小企業の人材確保支援

①ジョブカード普及推進

正社員経験の少ない未就業者を対象に正社員となることを目指してもらう「ジョブカード制度」に関連して、実践的な職業訓練を実施し、企業の人材ニーズに合致した人材の育成・確保を進める。

新 ②「(仮称)人材相談デスク」の設置

当所の経営相談窓口に、「(仮称)人材相談デスク」を設置し、会員企業の 人材確保に関する相談について一元的に対応する。

③建設業界における人材確保支援、外国人材の活用検討

建設業界での人材不足解消に向け、若者の人材確保や、高齢者・女性の活用拡大、さらには、外国人人材の活用に向け、関係諸機関と検討する。

④介護·福祉分野人材確保支援事業

人手不足が深刻な介護・福祉分野の人材確保に向け、研修会の実施や、会員企業と連携した現場実習を行う。

(3) 付属専門学校の運営

専門知識や技術向上、人間性教育の充実を図り、社会に受け入れられる有能な人材、産業界のニーズに応え、時代に必要とされる人材を育成・輩出する。

設置学科 • 経営情報学科

税務会計学科

・総合ビジネス学科

• 北海道観光学科

・ビジネス情報学科

・システム会計学科

4. 組織活性化と基盤強化

第35期のスタートに伴い再編された部会・分科会活動の活性化を図るとともに、 業界の垣根を越えた新たな企業間連携の創出による組織活性化を図る。

また、会員加入運動の推進や、会員サービスの向上、さらには外部への情報発信力 の強化により、「会員2万社への復帰」を目指す。

(1)組織の活性化とネットワーク化促進

1)部会・分科会の運営

①部会・分科会交流開催

部会役員同士の新たな企業間連携を支援することを目的に、交流会・懇親 会を実施する。

②業界の課題抽出と解決に向けた取り組み

定期的なヒアリング・アンケート等の実施により、各業界の課題を抽出し、 各部会の要望事項として取りまとめ、適宜関係機関に要望する。

③部会役員交流事業の実施

部会役員間の親睦と交流を深めることを目的に、ゴルフ大会等を実施する。

2)企業間連携促進のための新たな「場」づくり

- ①企業交流会の拡充
 - ~若手交流会、新入会員交流会、朝活・夜活ビジネス交流会、(仮称) ビジネスランチミーティング、カフェ女子会、地域ビジネス交流会

新入会員交流会のほか、異業種、若手、個人事業主、女性経営者など、テーマや階層を細分化した企業交流会を開催し、会員企業の人的ネットワーク構築・拡大に資する。また、支所単位での「地域ビジネス交流会」も実施するほか、開催時間を変えて「早朝」「昼」「夜間」の時間帯の交流会も開催する。

②「支店懇話会」の運営

札幌市内の支社、支店、営業所等の事業所の代表者を対象とした交流・懇親会を実施し、札幌の魅力に直接触れてもらう機会や交流の場を創出する。

③「さっぽろサムライ倶楽部」の運営

中小企業経営と密接な業種である各種「士」業を対象として、交流会や登録事業者を講師とした企画型シリーズセミナー等を実施する。

新 ④新たな企業連携の「場」づくりの検討

経済環境の変化に対応し、時流にあった「経営戦略」「マーケティング」など、少人数制の研究会を開設し、より実践的な知識を身に付けるとともに、参加者同士における人脈形成を図る。また、若手経営者同士の交流の場の設置について検討する。

3)東北との交流活発化

①被災地応援即売会の開催

被災地商工会議所への職員派遣を通じ、現地の水産加工企業の被災後の販路が細っていることが判明したことから、札幌市内で被災地の水産加工品等を対象とした即売会を開催することで応援する。

②東北企業の「我が社の商品売り込み市」への招聘

当所で実施する「我が社の商品売り込み市」に東北地域の中小製造業者を招聘して、札幌企業との商談機会を創出することで販路拡大を支援するほか、北海道のバイヤーに対して東北開催の商談会への参加を促す。

③東北応援ツアーの実施

復興応援を目的とした観光ツアーや、東北産業視察会などのツアーを企画・実施し、被災地への訪問機会を創出することで被災地復興の継続的な支援に繋げる。

④プロスポーツを通じた東北との交流

北海道日本ハムファイターズ、コンサドーレ札幌と楽天ゴールデンイーグルス、ベガルタ仙台との対戦に伴う交流事業を実施する。

⑤チャリティゴルフ大会の開催

広く会員に参加を募り、会員チャリティゴルフ大会を実施し、プレイ代の 一部と当日の募金を復興義援金として被災地会議所等に寄贈する。

⑥被災地商工会議所への職員派遣

被災地商工会議所の要請を受けて現地に経営指導員を派遣する。

(2)組織基盤の強化

1)会員2万社運動の展開

- ①加入推進強化に向けた新会員紹介キャンペーン 新会員紹介キャンペーン等による入会促進を図る。
- ②法定台帳作成管理
- ③入会3年以内企業訪問活動

入会3年以内の会員企業を対象に訪問活動により当所の事業周知や当所に 対する要望の聞き取りを行い、事業運営に反映する。

新 4創立110周年記念事業の検討

平成28年10月に当所創立110周年を迎えることから、記念事業の実施について検討する。

2)発信力の強化

- ①広報誌「さっぽろ経済」の刊行
- ②ホームページ・フェイスブックページの運用・管理
- ③メールマガジンの発行

中小企業支援制度や補助金等の役立つ情報を新たに配信する。

- ④FAX情報送信
- ⑤マスメディア(新聞・TV)を活用した事業PR

新 ⑥定例記者会見の実施

経済記者クラブを通じ、会頭による定期的な記者会見を実施し、当所活動等の情報を発信する。

新 ⑦議員向けニュースレターの発行

当所議員向けに、実施事業並びに今後の予定事業のトピックスをまとめたニュースレターを毎月発行する。

3)会員サービス・福利厚生事業

①会員特別講演会の開催

話題の著名人や、革新的な企業経営で成功している企業の代表者を招き、 講演会を実施する。

②会員表彰式・新春交歓会の開催

当所の会員として長年、地域経済の振興にご協力頂いた企業を表彰するほか、会員交流のため新春交歓会を開催する。

③各種福利厚生事業 (チケット販売、集団健康診断他)

スポーツ観戦、美術展、舞台等のチケットを会員価格で販売するとともに、 レジャー施設・ホテル・医療機関(従業員集団健康診断、生活習慣病予防 健診および各種ドック)等を会員価格で利用できる優待サービスを行う。

4)各種申請対応

「原産地証明発行」「公害健康被害補償事務」「容器包装リサイクル事務」 「JAN コード申請」などの申請受付を実施する。

⑤エコカレンダーの販売

年末のノベルティ用として、環境に配慮した素材を活用した企業の名入れ 卓上カレンダーを会員価格で提供する。

⑥会員サービスガイドブックの発行

レジャー施設・ホテル・医療機関・スキー場を会員価格で利用できる優待 券付きの冊子を、春と冬の年2回(冬はスキー場のみ)作成し、会員企業 へ配布する。

⑦各種共済事業

- ・「生命共済制度」の運営
- ・「入院共済制度」の運営
- ・「まごころ共済制度」の運営
- ・「災害保障共済制度」の運営
- ・「小規模企業共済、経営セーフティ共済」の加入促進

(3) さっぽろ芸術文化の館の運営

札幌商工会議所 第35期活動方針

企業を全力で応援!

1. 中小企業の挑戦を応援する

政府の成長戦略にも掲げられた『中小企業・小規模事業者の革新』に向け、食や観光といった地域資源の活用や、国内外への販路拡大を一層支援するとともに、経営革新等支援機関としての相談支援体制を強化する。加えて、創業支援や成長分野等への進出支援を行うほか、会員企業の経営課題において最もニーズの高い「人材確保・育成」支援に注力するなど、会員満足度向上を図る。

- ①地域資源活用分野(食、観光)の振興
- ②国内外企業との商談機会の拡大、海外展開支援
- ③東北との交流活発化
- ④創業支援の充実・強化
- ⑤相談事業・再生支援の充実・強化
- ⑥人材確保、グローバル人材の育成

2. 札幌・北海道に活力を生み出す

人口減少・少子高齢化などの状況を踏まえ、地域活力を生み出すための提言・要請活動を強化する。2016年春には、いよいよ北海道新幹線が新函館(仮称)まで開業。札幌でも開業記念イベントを実施する。また、引き続き、新幹線札幌開業に向けた工期短縮や市内外の道路・空港等の整備に向けた取り組みをおこなうほか、電力・エネルギー問題や、TPP、消費税引き上げへの対応といった直面する諸課題に対して各委員会の政策提言活動を強化する。加えて、増加する外国人観光客への接遇向上にも取り組む。

- ①政策提言活動の強化、札幌版成長戦略の提言
- ②2016年 新幹線道内乗り入れ、および札幌延伸の工期短縮に向けた取り組み
- ③市内外の道路・空港等の整備に向けた取り組み
- ④外国人観光客の受け入れ体制強化
- ⑤街の賑わい創出
- ⑥当所創立110周年記念イベントの検討・実施
- ⑦首都圏バックアップ機能の誘致に向けた取り組み
- ⑧札幌冬季五輪の誘致

発行 平成 26 年 3 月 札 幌 商 工 会 議 所 〒060-8610 札幌市中央区北1条西2丁目

TEL 011-231-1360(**直通**)

http://www.sapporo-cci.or.jp